



千客万来！満員御礼！

な ん かい マルシェ

令和5年9月10日（日）実施

南海寮の運動広場にて法人主催のマルシェを開催しました。近隣住民の皆様、また日頃サービスをご利用いただいている在宅のご利用者や家族、児童、関係事業所のスタッフ、その他市内各地からも大変多くの皆様にご来場をいただきました。

当日は残暑が厳しく炎天下での開催という事もあり、日除けの場所が少なかったり、一部の売り場で長蛇の列ができるなどの不手際もありましたが、「ぜひ来年も開催してほしい」などといった前向きな感想を多数いただき、総じて皆様楽しんでいただくことができたと感じております。

現場の業務効率化研修会に参加して

事務員 竹崎 栄喜

9月26日、27日にオンラインにて熊本県社会福祉協議会主催の表記研修会に参加させていただきました。

業務の効率化とは、「ムリ」「ムダ」「ムラ」を省き、改善することで業務の遂行を効率化することでした。業務の効率化を行う手段として、「タイムマネジメント」「業務改善」の2点があります。

「タイムマネジメント」とは、持ち時間を最大限、有意義に使うということで、基盤となる3つの心得があります。①持ち時間を有効に使う（スケジューリングを行う）②持ち時間を減らさない（むやみに他者へ提供しない）③持ち時間を増やす（他者の力を借りる）です。スケジューリングをすることで自分が抱えているタスクの全体像や期限、やるべきことが整理できて安心して仕事に取り組める等のメリットがあります。また進捗状況を把握することで、他者からの依頼の対応もいつならできるか判断し、交渉することも可能になります。日頃のコミュニ

ケーションで他者の力（知識や経験）を借りられるようにすることも重要なことでした。

「業務改善」とは、業務や職場環境などを現場から改善する活動のことです。業務改善のステップは①現状分析（問題発見）、②目標設定（理想の目標）、③改善策立案（行動目標）、④改善策導入、⑤評価・再見直しとなります。まずは日々の業務の見直しを行い、現状の問題点を見つけることが業務改善の第一歩となります。自分のことを振り返ってみると、与えられた仕事に対して、ただこなすことだけを考えると前例踏襲になっていました。業務改善を行うことで、仕事に対するやりがいや達成感を得ることが出来ると思います。今回の研修で学んだことを活かし、利用者や自分、他の職員、組織にとってより良い状態になるように業務の効率化を図っていききたいと思います。

全国グループホーム等研修会にて

生活支援員 森山 房雄

10月3日～4日、広島にて第34回全国グループホーム等研修会が開催されました。

テーマでは「軽度・触法障害者の地域生活支援のあり方を考える」というもので主任、サビ管の方々への体験発表を拝聴しました。触法障害者との関わり方は、個別のニーズや希望に基づいて柔軟に対応する事が重要です。法的な障害が存在する場合、彼らの権利が保護されるように努める必要があります。例えば、障害者が法律や情報・制度など必要とする情報にたどり着き、提供されている情報や機能を利用できるようにすることや、自己決定が行える環境の整備が挙げられると話されています。

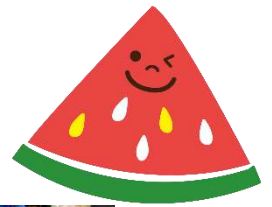
又、相手の個性や能力に対する尊重と理解を含むものでなければならぬ、予め決められた偏見や先入観に基づいて接するのではなく、主体性や多様性を尊重し、自分の人生を選択できるようにサポートする必要がある。更には法的な抵触を持っている場合に

は、彼らの権利を守るために法的な知識や手続きについての理解が必要です。

私達は、彼らが法的な抵触を解決できる様に案内やアドバイスをを行う事が求められ、彼らの意見やニーズを聞き、彼ら自身が関与する事を促すことも重要と話されました。

今回の研修を受けて障害者との関わり方は、持続的な関係の構築にも注力する必要と短期間のサポートではなく、彼らの生活や状況の変化に合わせ、柔軟に対応できる関係を構築する事が大事と感じました。また障害者が他の人との関わりや社会参加を促進するためのサポートを提供する事も重要であり法的な抵触を理解する事で私たちは、彼らの権利を守りながら個別のニーズや希望に寄り添う関わり方が出来るようになる事が大切だと感じます。又、お互いの尊重や理解を通じてより包括的で平等な社会の実現に貢献できると感じました。これからも彼らと共に感じて理解し、より良い関係を作って同じ人間同士の付き合いをしていきたいと思っています。

ビアガーデン



ご馳走ばかりでうれしいな



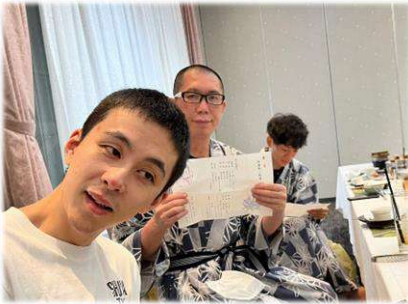
皆さん浴衣が似合いますね



ビールがすすむばい！



県内 1泊旅行 R5.8/30~31



県内 1泊旅行 R5.9/26~27



久しぶりの県内 1泊旅行♪

皆さんとてもいい笑顔😊

秋は行事がめじろおし！

天草ほんど ハイヤ祭り



9月30日(土)、第58回天草ほんどハイヤ祭りの締めくくりとなる、道中総踊りが開催されました。

南海寮は4年ぶりの道中総踊り、当日は職員のキッズたちも含め総勢37名で参加しました。今回初めて踊る方も多かったのですが、連日の練習の成果もあり、「ハイヤ、ハイヤ」「ヨイサーヨイサー」の掛け声に合わせて、元気に楽しく踊ることが出来ました。

そして今年の「超南風人(スーパーハイヤ人)」には、皆さん納得の利用者さんが受賞！軽快なステップと、しなやかな手さばきがとても素敵でした。

熊本県知的障がい者施設 親善スポーツ大会

10月8日(日)植木中央運動公園施設で施設親善スポーツ大会が開催されました。南海寮はペタンク競技に10名、男女2チームに分かれて参加しました。

前日には宿泊先で壮行会を行い、しっかりと英気を養い大会に臨みました。本番では皆さん全力を尽くしましたが、入賞まであと一步届きませんでした。結果は残念でしたが、楽しいひと時が過ぎて大満足の二日間となりました。

選手の皆様さんお疲れ様でした。来年も頑張りましょう！



あいむだより

生産活動紹介

現在、あいむでは生産活動の1つとして手芸品の制作に挑戦しています。あいむを利用されているTさんは、以前から手先が器用で、ミシンも手際よく出来る方です。以前はコースターの制作を行われていましたが、今年度よりステップアップを目指し、様々な手芸品に挑戦して貰っています。Tさんの強みである「見て覚える」を生かして、手芸品の作り方の動画を観ながら作業に取り組んでもらい、現在では「ランチョンマット」「ミニ巾着」「トートバッグ」「ポーチ」等、レパートリーが増えました！

ミニ巾着の作成開始時は、約3時間で1個のペースでしたが、現在は1時間ほどで1個完成させることが出来るようになっています。

次の目標は「販売会」に出店して、多くの方にあいむの事を知ってもらいたいです！今後、お祭りや販売会等のイベントも増えてくると思っていますので、可愛いラッピングをして販売会に参加出来るように頑張ります！あいむの手芸品を見かけた際には、ぜひ一度手にとって見てください♪

作製中の様子



作品：ミニトートバッグ



作品：ミニ巾着



作品：コースター

作品一部紹介